

# (仮称) 千葉県地域産業成長プラン 骨子案

## 第1章 プラン策定の基本的な考え方

**策定の趣旨**…「成田空港第2の開港プロジェクト」の進展や、圏央道・北千葉道路など広域的な幹線道路ネットワークの充実といった本県飛躍のビッグチャンスを最大限に生かしながら、20年、30年先の将来を見据えた産業の誘致・創出や、地場産業の強化に向けた付加価値向上・販路開拓支援等に戦略的に取り組み、地域経済の更なる拡大を目指していくため、本プランを策定する。なお、産業分野については、随時、追加等の更新を図っていく。

**プランの期間**…令和8年度(2026年度)～令和12年度(2030年度)の5年間

**プランの構成**…第2章において本県産業を取り巻く現状・課題を整理した上で、第3章において県経済をけん引していくことが期待される産業クラスターの形成・拡大に向けた取組を示すとともに、第4章において地域の特色や優位性を生かした地場産業をさらに力強く発展させていくための取組を示す。

## 第2章 本県産業を取り巻く現状・課題

- ・人口減少や少子高齢化の進行に伴い、地域経済の縮小や各分野における担い手不足など様々な影響が懸念されるため、デジタル技術の活用による生産性向上や高付加価値化、海外も含めた販路開拓、新たなビジネスの創出等に取り組むことが必要。
- ・経済のグローバル化や、GX・DXの進展、循環経済への移行、物価の高騰等、社会・経済状況がめまぐるしく変化する中においても、本県産業の活力を高めるため、国内外の情勢に柔軟に対応しつつ、本県の高いポテンシャルを生かし、県経済を担う産業の振興・育成を図ることが必要。
- ・担い手不足への対応や農林漁業者の所得向上等を図るため、雇用就農も含めた新規就農者の確保・定着や、生産力強化・省力化に資するスマート農林水産業、食の多様化に対応したブランディング強化、多様な販売チャネルの開拓等に取り組むことが必要。
- ・第3号走路の新設等を含む「成田空港第2の開港プロジェクト」の進展により、ヒト・モノ・サービスの増加が見込まれており、この効果を我が国の産業競争力強化と本県経済の活性化につなげていくため、空港を核とした産業拠点の形成に取り組むことが必要。
- ・圏央道の県内区間全線開通やアクアラインの割引継続、県北西部の渋滞解消、港湾の整備等を通じた物流機能の強化等による本県の広域的な拠点性の向上を踏まえ、民間投資を呼び込む環境づくりに取り組むことが必要。

## 第3章 地域産業クラスターの形成・拡大(地域産業クラスター計画)

※知事主導で計画されるクラスターであって、複数自治体の連携促進や中堅企業支援等の適用など、政府の施策の戦略的活用をプッシュ型で提案していくことで、その形成・拡大を目指すもの。

### 1 航空宇宙分野

OMRO技術等(成田空港周辺地域)

- ・成田空港が有する豊富な航空ネットワークや航空機整備拠点機能を強みとして、成田空港周辺に航空機整備関連産業の更なる集積を図るとともに、空港機能や航空分野と親和性の高い宇宙関連産業の集積を図り、航空宇宙産業のクラスター形成を目指す。
- ・(産業集積に向けて産業用地確保が課題となっており、)成田空港の航空機整備地区に近接し、航空関連産業の集積に適している地区(芝山町岩山地区)において、産業用地を直接整備することで、航空宇宙分野の産業集積を図っていく。

### 2 資源・エネルギー安全保障・GX分野

OSAF・鉄(水素還元製鉄)・液化水素【素材・エネルギー産業】(京葉臨海コンビナート地域)

- ・バイオ由来原料による持続可能な航空燃料製造の開発、高炉における直接又は間接の水素還元技術の開発、液化水素供給能力の増強などにより、石油精製業、製鉄業、エネルギー産業におけるグリーン・トランスフォーメーションの取組を推進する。
- 洋上風力発電設備【再生エネルギー産業(洋上風力)】(京葉臨海コンビナート地域、銚子市沖など沖合4海域等)
- ・洋上風力発電の導入を目指す。また、洋上風力発電の導入を地域経済の活性化につなげるため、関連産業の集積を進める。

### 3 創薬・先端医療・バイオ分野

○先端医療技術(千葉、かずさ、柏の葉地域)

- ・国立がん研究センター東病院等との共同研究を進める企業を集積させることで、先端的な製品等の開発を目指す。

○バイオ製品(千葉、かずさ地域)

- ・かずさDNA研究所等との共同研究を進める企業を集積させることで、先端的なバイオ製品等の開発を目指す。

### 4 AI・半導体分野

○フォトレジスト樹脂(京葉臨海コンビナート地域)

- ・先端半導体の省電力化に寄与する材料供給などにより、半導体関連産業におけるグリーン・トランスフォーメーションの取組を推進する。半導体素材となるフォトレジスト樹脂を製造する化学メーカーの技術開発等の支援により、製品の高付加価値を目指す。
- 感光材(東総地域ほか)
- ・AIデータセンター等で活用される半導体や省エネ・低消費電力化のキー・パーツであり電力の制御や変換を行うパワー半導体の製造に不可欠な材料である感光材について、関連産業の集積と県内での半導体の生産基盤の構築を目指す。

### 5 情報通信分野

○海底直流送電ケーブル・光ファイバー・光ケーブル等(京葉臨海コンビナート地域等)

- ・再生可能エネルギーの普及やデータセンターの増設に伴い、海底に敷設する高圧直流送電ケーブルや光ファイバーケーブル等の需要が増加しており、こうした需要増に対応するために生産能力を増強し、国際競争力を獲得する。

## 【第3章において今後、検討する分野】

マテリアル分野(ヨウ素関連産業)

港湾ロジスティクス分野

MICE分野

防衛産業分野

## 【第4章(地場産業成長プラン)において今後、検討する分野】 ※今後市町村との調整を経て決定

航空宇宙産業分野

再生可能エネルギー産業等分野

健康・医療ものづくり産業分野

観光産業分野

農林水産業分野

食品関連産業分野

発酵関連産業分野

スポーツ・文化芸術分野

### 【参考】国の掲げる17の戦略分野

- ①AI・半導体
- ②造船
- ③量子
- ④合成生物学・バイオ
- ⑤航空・宇宙
- ⑥デジタル・サイバーセキュリティ
- ⑦コンテンツ
- ⑧フードテック
- ⑨資源・エネルギー安全保障・GX
- ⑩防災・国土強靱化
- ⑪創薬・先端医療
- ⑫フュージョンエネルギー
- ⑬マテリアル(重要鉱物・部素材)
- ⑭港湾ロジスティクス
- ⑮防衛産業
- ⑯情報通信
- ⑰海洋